

いきものみつけファーム IN 山内を始めます！ 5/6

今年の大きなプロジェクト、いきものみつけファームが始まりました。(組織的にはこれからです)。これは子どもを中心として、地球に優しい農地作りをしながら、体験、交流を通して、多様な生き物、農業や食を学ぶ機会とするものです。山内にいながら、農業には直接関わっていない子どもや大人たちが、地域の人力をかりながら、また地域外の人も巻き込みながら、一緒に楽しいことをします。

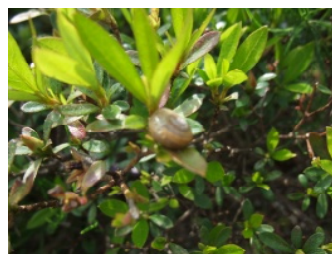
今回は、スタートにふさわしい田植え、天気がややこしかったけど、田んぼの土手を歩く感触、土のヌルヌル感、水の冷たさ、田んぼの石を踏んだときの痛さ、そして、ひと苗ずつ植える田植えの体験、もちろん生き物にも対面しました。へびはやっぱり気持ち悪いですね。

手では少ししか植えませんが、初めての体験で、昔の人たちが体全体を使って、田植えをしておられたことを思うと、改めて先人への尊敬の念を感じます。さてさて、これからどんな生き物に出会っていくのでしょうか？



田んぼに素足で入るのは初めての子どももいて初めは、生き物もビックリするくらい声を出していましたが、少しずつ慣れて、苗を一つ一つ丁寧に植えられました。

見つけたいきもの ヤモリ、カタツムリ、へび、かまきりの卵、タニシ



とっておきの肥料：米の精【東洋精米機さんからの提供】
 米の精とは、BG無洗米を作るときに取り除かれる肌ぬかのことです。米の精は、土に投入されることで、米の精自身をエサにしてこうじ菌や酵母菌などの微生物を増やします。作物に必要な栄養を微生物たちが作り出し、作物が作りやすい、生き物が住みやすい土を作ります。



5, 6月イベントからのレポート

いきものみっけ看板づくり

5/13

看板をたてましょう。子ども達が考えた図案を、真っ白いキャンパスに描きました。天気の良いこともあり、一日かかって、屋外で3つの看板を子どもと大人で作ることができました。山内の3箇所にこの看板が立ちます。午後からは、大人メンバーは、休耕田の畑熾しに分かれて、汗をかいてくれました。石がゴロゴロ・・・私も、カメラ係から、スコップに持ち替えなければ・・・、気持ちはありますが(笑)

“いきものみっけファーム”が作る新しい出発と世界、心かようファームでありたい、心のよりどころや思いやりを見つけていきたい、人の暮らしの魅力がいきいきとしているファームでありたいな。子ども達と作った未来へのささやかなビジョンを描きながら、みんなでドラマを創っていきましょう。



やまえこも参加

甲賀市民泊受け入れ

甲賀市農業振興課では、平成25年度の民泊受け入れを目標に準備を始めておられます。

都会から中学生を受け入れる研修旅行では、先駆的な隣町の日野町のご協力を受けて、甲賀市でも数十件の公募をされ、5月(5/17~5/19)と6月(6/8~6/9)の神戸市の中学生の受け入れにやまえこのメンバーも協力させていただきました。「川がきれい」「夜が本当にくらい」「地域のが優しい」「農業体験が面白かった」と、外から見た山内は、とてもいい所に写った様子でした。受け入れをした家庭や協力いただいた地域のかたの「こんなことに喜ぶのなら・・・」とプチ幸せを感じたり、違った目で普段の生活を見直し、自信をもつことができるいい機会になりました。

今回の山内プログラム

田植え 苗箱洗い 畑おこし
サツマイモ植え
茶摘み～簡単にホットプレートでお茶を作る
玉ねぎ、ジャガイモ、エンドウ収穫
よもぎ摘み よもぎ餅づくり
巻き寿司づくり 山内散策
カジカの泣き声聞く
ご飯の準備、あとかた付け
川での魚つかみ (魚はいなかったらしい)



驚いたことは、地域の人が優しく声をかけてくれることでした。

農村体験では、田植えをさせてもらい、大きな機械にも乗りました。スナップ豆をつんだり、川へいったり、石ひらいをしたり、茶摘みをさせてもらったり、どれも神戸の街ではできないことばかりで、楽しかったです。一生に一度できるかどうかわからない体験をして幸せだなあと感じました。

また山内に来てみたいです。
(神戸市からの中学生女子)

あなたも仲間 夢と感動と潤いを届ける 山内エコクラブ 随時メンバー募集してます。

事務局 〒528-0208 滋賀県甲賀市土山町黒川 2063 竜王真紀

URL:<http://www3.to/yamaeco> 電話 090-7966-2262

メール ryuoh-mtm@maia.eonet.ne.jp